

平成 27 年度国立市総合防災訓練実施概要

実施日時 平成 27 年 8 月 30 日（日） 午前 8 時 45 分から

訓練会場 国立第三小学校

スケジュール

午前 8 時 45 分	防災行政無線を使用したサイレン吹鳴により訓練開始 市民の避難開始
午前 9 時頃	市民が第三小学校に参集見込み 第三小学校校庭で市民の体験型訓練開始
午前 10 時	避難所運営訓練開始
午前 10 時 30 分	国立市歯科医師会による避難所での口腔ケアの講演
午前 11 時頃	訓練終了

目的 多くの市民に体験型訓練に参加してもらい、防災意識の向上や個人・地域での災害対策を行うきっかけとしてもらう。また、個人として行うべき対策についての知識を持ってもらう。
訓練会場である三小地区の地域特性として国立市内では消火活動の困難度を考慮すると、延焼危険が高い地域であるため、出火・延焼防止のための訓練や啓発を行う。

訓練会場図 資料 2 - 2 のとおり

訓練概要 初期消火訓練
水消火器により消火器の使用方法を学ぶ。
煙体験
教室内に煙を充満させ、より現実的な煙体験を行う。
住宅火災警報器・家具転倒防止器具の展示
住宅火災警報器の設置義務付けから時間が経過したが、再度取付けの周知を行うとともに、電池切れへの注意喚起も行う。また、火災も含めた避難のために家具転倒防止器具の設置も促す。
出火防止や避難に関する展示
防災安全課で避難所と広域避難場所の違いなどをパネル展示する。
スタンドパイプ放水体験
自主防と三小・一中に配備しているスタンドパイプを使用した放水体験。
起震車体験
起震車で地震の揺れを体験する。

包帯法（三角巾）

日赤の指導を依頼し、三角巾を使用した包帯法を習得する。

アルファ米作成体験

例年炊き出し訓練として参加者へアルファ米を配布しているが、平成 27 年度は個食のアルファ米が期限切れを迎えるため、参加者にお湯を入れて作成を体験してもらう。

アルファ米作成及び大釜での湯沸かしは日赤と女性防火の会へ依頼する。

ペット対策

獣医師会に依頼し、災害時のペットの同行避難やマイクロチップについてパネル展示と説明を行う。

立川警察署による防災体験

立川警察署の指導により防災技術の体験を行う。

自衛隊による活動資機材の展示

展示コーナー

防災関連団体による展示を行う。

出展予定団体：N T T（災害時伝言ダイヤル体験）

東京ガス（マイコンメーターの復旧方法）

東京都葛飾福祉工場（防災グッズの展示）

立川消防少年団演技

立川消防少年団による規律と結索の披露を行う。

9：45～10：00 頃に実施する。訓練途中の参加者は訓練を継続する。

避難所運営訓練

三小・一中避難所運営委員会の協力を得て、体育館の避難居室としての設営や建物の安全点検を行うほか、訓練参加者を避難者と見立て、屋外での一時待機、体育館への誘導を行い、体育館では避難所開設や避難所運営のポイントを避難所運営委員より紹介する。

国立市歯科医師会による講演

避難所での健康管理の一環として口腔ケアに関する講演を行う。

参加予定団体

立川消防署、立川警察署、国立市消防団、三小・一中避難所運営委員会、陸上自衛隊、国立市歯科医師会、赤十字奉仕団、東京都獣医師会多摩西支部、立川消防少年団、女性防火の会、東京ガス、N T T、東京都葛飾福祉工場 等

体調不良者への対応

訓練当日は、市の保健師 2 名を会場へ配置予定。

本部テントを救護所として兼用する。

状況に応じて校舎内の冷房が効く部屋へ案内する。

給水所として麦茶の入ったジャグを数か所設置する。

訓練の周知

市報 8 月 2 0 日号に記事を掲載する。

チラシを学校及び自治会等で配布する。(7 月下旬 ~ 8 月初旬)

市ホームページに訓練概要を掲載する。

くにたちメール配信、Twitter にて訓練日時や概要を広報する。

協定に基づき、ジェイコム多摩の放送画面にテロップを流す。